

令和7年1月14日

保護者の皆さま

阿南市立中野島小学校長 原田 宏志



令和6年度 学校評価について

早春の候、保護者の皆さまにおかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。
日頃は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、令和6年11月下旬に「令和6年度 学校評価アンケート」を実施いたしましたところ、ご多用にもかかわらずご協力いただき感謝申し上げます。

また、同じ時期に、児童に対しましても保護者の皆さまのアンケートと同様に「中野島小学校をよくするためのアンケート」を実施いたしました。

この度、アンケート集計結果をお届けします。この結果をもとに、教職員が話し合いや考察を深め、今後の教育活動に生かしてまいりたいと考えています。

今後も中野島小学校の教育活動に対しましてご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※ 学校ホームページやマチコミでもお知らせしていますのでご覧ください。

【考 察】保護者や児童（上学年・下学年の平均値）のアンケートから

A：そう思う、 B：どちらかといえばそう思う、 C：どちらかといえばそう思わない、 D：そう思わない

◎肯定的評価(A・B)が85%以上の項目

◇（生活の様子） ◎今回85%以上に向上したもの

- 「友達と仲良く生活を送っている」
- 「楽しい学校生活を送っている」
- ◎「学校や阿南市のことが好きで誇りに思う」
- 「丁寧な掃除とスリッパそろえ」
- 「学校の決まりを守り、安全に気をつけている」
- 「規則正しい生活（早寝・早起き・朝ご飯）」

◇（学習活動の様子） ◎今回85%以上に向上したもの

- 「授業がよく分かる」
- 「タブレットを使った学習が楽しい」
- ◎「授業で学んだことを生活の中で生かそうとする」
- 「校外学習やゲストティーチャーとの学習が楽しい」

◇（命を大切にする力：人権・防犯・防災等）

- 「学校はお子さんの学習や生活態度について指導に努めている」
- 「先生はわたしたちの話をよく聞いてくれる」
- 「先生はいじめのない学校にしようとしている」
- 「学校は子どもの人権を大切に、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」
- 「交通安全や不審者等が出た時の対応を知っている」

◇（学校と家庭の連携、情報共有）

- 「ご家庭への連絡や情報提供は適切である」
- 「参観日やPTA行事は適切である」
- 「家で宿題や学校の用意をきちんとしている」

【課題改善に向けて】

◎よい生活習慣の定着

本年度も中野島小学校のよい生活習慣の定着に向けて取り組み、「元気な挨拶や正しい言葉使い」、「丁寧な掃除やスリッパそろえ」「友達を大切に仲良くする」「運動遊びをする」等はおおよそ定着してきています。

一方、「家庭での読書習慣」については、取り組んでいる児童とそうでない児童が分かれています。学校では今後もすべての子どもたちがよい生活習慣を身につけ、自立できるよう継続指導していきますので、安全な徒歩通学の推進もふくめ、ご家庭での協力とご支援をよろしくお願いいたします。

◎読書の推進

読書により、文字を追うことでかなりの集中力が養われます。文章に入り込むことで前後関係から推測したり判断する力が育ちます。また、たくさんの単語や漢字に触れることで読解力がついていき、語い力が蓄えられていきます。そしてコミュニケーションや社会性の向上、学力の向上に向かっていきます。したがって、小学校時代からの読書習慣の定着は非常に重要になってきます。学校では、「読書タイム」の継続とともに、図書館サポーターとの連携を工夫し、読み聞かせの時間特設など、本に出会い、親しみ、読むことが好きになっていくような機会を増やしてきました。家庭でも読書の時間をつくることを目指し、市では毎月第2土曜日を家庭読書の日として啓発しています。家庭読書のひとときをつくり、続けていけるといいですね。図書館等の施設もぜひご利用ください。

◎自分の思いや考えを伝え合う

「自分の思いや考えを伝え合う力」の向上に努めていきます。挨拶等の発声をはじめ、ペアやグループ等での対話の機会を増やし、また、学校・家庭での読書も推進しながら、自分の内なる言葉（内言）を増やし、時と場合に応じたコミュニケーションスキルや考える力の向上を目指していきます。

△肯定的評価(A・B)が70%以下の項目 （課題）

「家庭で読書をしている」

※昨年度比で、「本を読むことが好きでよく読んでいる」のAB評価が下学年では8%増加し86%、高学年では昨年同様56%。平均70%。家庭読書の保護者評価は55%。

「自分の思ったことや考えを発表している」

※昨年度比で、AB評価が下学年では昨年同様80%、高学年では6%増加し54%。平均67%。家庭での保護者評価は8%減少し60%。

△自分の思いや考えを進んで伝えようとする
ことが控えめあるいは苦手な児童が上
学年に多い傾向である。

（アンケートの記述について）

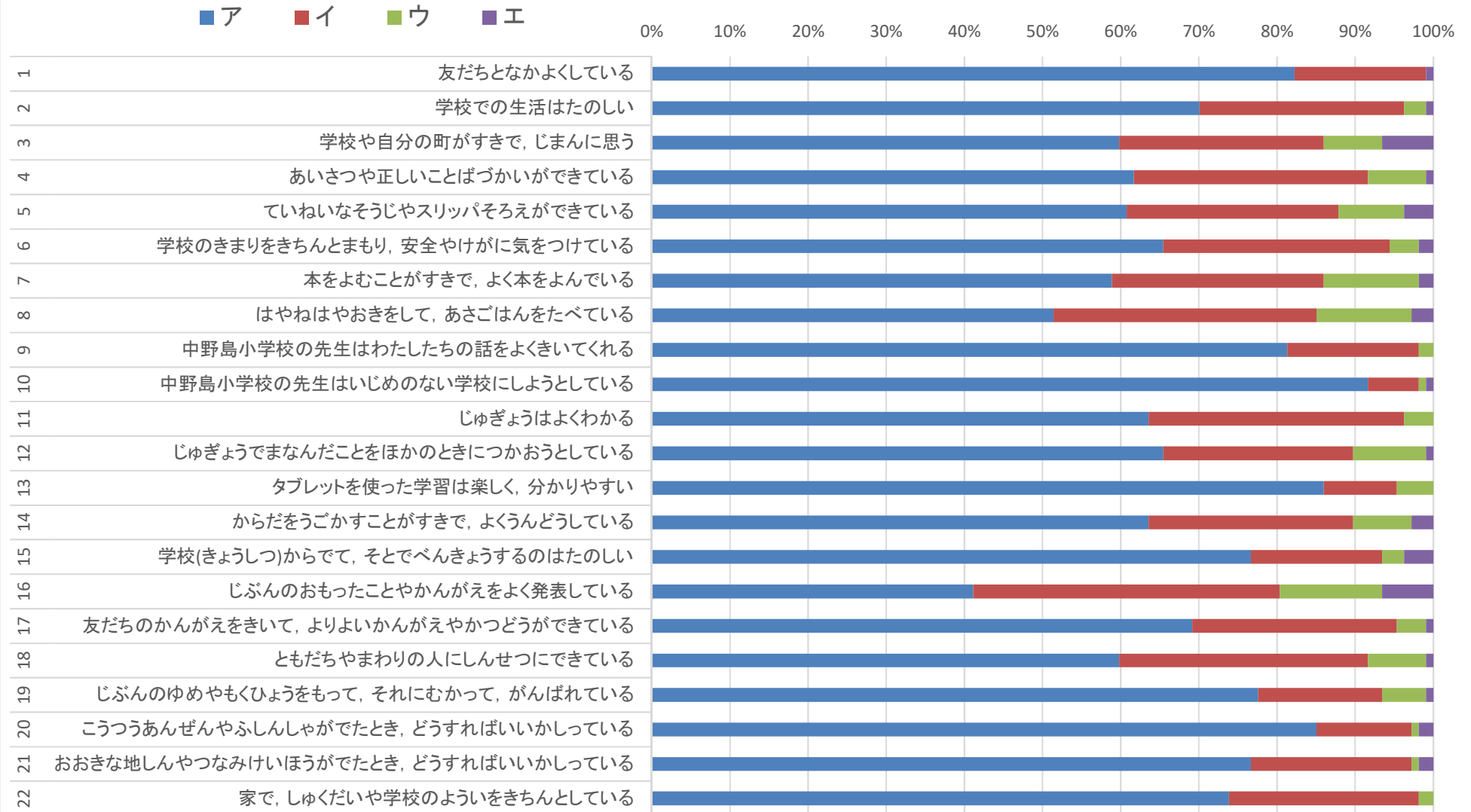
貴重なご意見をありがとうございました。保護者の皆さまの考えやお気持ちを大切に読ませていただきました。

学校行事や学校のきまり、子どもとの関わり等についていただいたご意見は、「子どもたちの豊かな成長のために」という視点で、教職員で十分話し合い、よりよいものとしていきたいと考えています。

ご多用の中、ご協力いただき、感謝いたします。

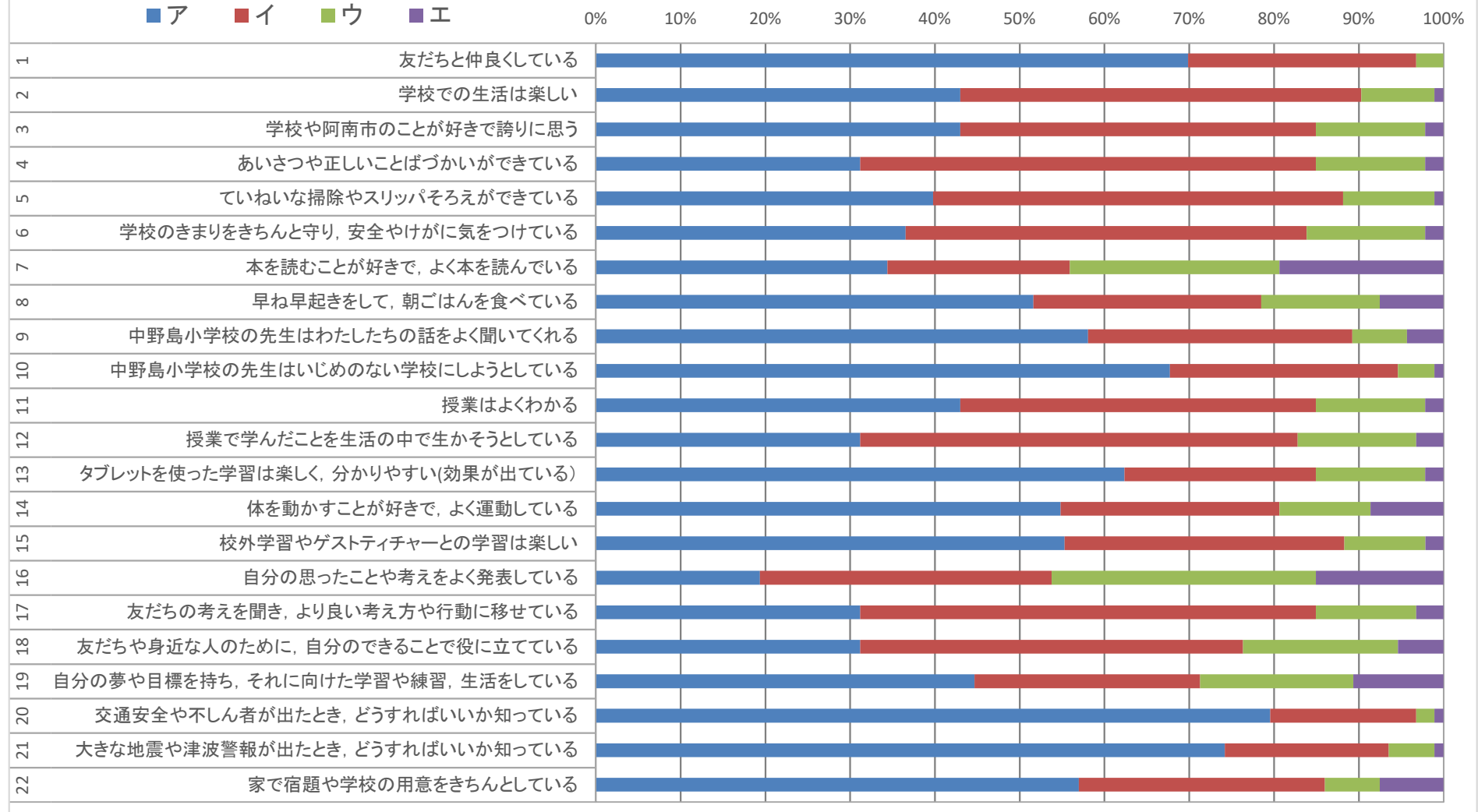
令和6年度 下学年児童アンケート結果

ア:思う イ:どちらかといえば思う ウ:どちらかといえば思わない エ:思わない



令和6年度 上学年児童アンケート結果

ア: と思う イ: どちらかといえばと思う ウ: どちらかといえば思わない エ: 思わない



令和6年度 保護者アンケート結果 全体

A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえば思わない D: そう思わない

